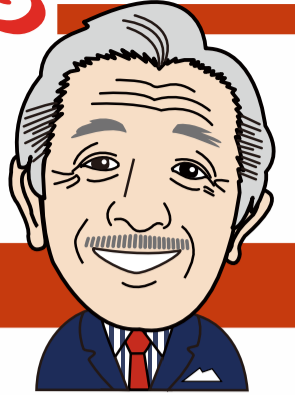


浅川力三 県政だより

誠意・熱意・創意・勇気を持って「熱き心で行動する男」



生涯にわたって健やかに安心して暮らせる山梨へ

県議会議長
浅川力三

盛夏の候、益々御清栄のことと推察申し上げます。

滋賀県の男子中学生がいじめを苦に自殺した事件が報道されました。私が子どもの頃にも、グループにはガキ大将がいて、ずいぶん乱暴なことをしましたが、相手の人格、さらには存在そのものを否定して、集団でいじめるようなことはありませんでした。この事件を反面教師にして、すべての学校で対策が進み、このようなことが二度と起きないように切に願っています。

さて、私は、過日の6月定例県議会において、議長として二つの議会改革を具体化させました。

一つは、**常任委員会での出資法人の経営状況に関する審査**です。住宅供給公社や林業公社など県が出資して設立した出資法人は、公共性の高い事業を所管していることから、これまで県議会では、特別委員会で活動内容を審査してきました。私は、これらの出資法人の事業は県民生活に密接に関連しているものであり、一層の議会の関与が必要と考え、県議会に四つある常任委員会で審査することとしました。この結果、各委員会で丁々発止のやりとりがあり、審査が格段に活性化しました。

二つめは、**鳥獣被害対策の推進**です。本県では、猿や猪、鹿による農作物の被害が毎年2億円にも達していきまして、私は、かねてから鳥獣被害対策の必要性を訴えてきました。そこで、議員12名で構成する、本県議会初の政策提言等検討会となる鳥獣被害対策政策提言等検討会を設置しました。

このほかにも、議会基本条例の制定に向けた検討会の開催、周産期医療の充実に関する知事への提言など、県議会は活発に活動しています。そして、私は、38名の議員の取りまとめ役として、引き続き県議会をリードして参ります。今後とも、温かい御支援をお願い申し上げます。



県議会の周産期医療研究検討協議会が知事に対し、産科医確保に関して提言

[GENKI ★ YAMANASHI]

TOPICS

★ AGGRESSIVE ★



▲菜の花プロジェクトで昨年9月に種をまいた菜の花を高根西小の生徒さんと地域老人会の皆さん300名と一緒に収穫しました。



▲やまなし農産物魅力発信懇談会で県産品の魅力をアピール



▲富士清掃活動で廃棄された古タイヤなどを大量に回収しました。

▼耕作放棄地をワイン用ブドウ畑などに整備する北杜市内の農地を視察



■白州町上教来石 (5ha) ■小淵沢町上笹尾 (2ha) ■明野町天王原 (20ha) ■須玉町津金/雀窪 (10ha) ■須玉町江草/笹場 (16ha) ■明野町小笠原/机 (15ha) ■明野町浅尾新田 (4ha)

6月定例県議会の概要 <平成24年6月21日～7月5日>

山梨県議会議長 浅川力三

【主な提出案件】

■一般会計補正予算案

- 学校給食モニタリング事業 199万円
県内の学校等で提供された給食の放射線検査を実施。
- 実践的防災教育推進事業 430万円
学校において、緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練等を実施。
- 鳥獣被害防止総合対策事業費補助金 1,006万9千円
- 学生U・Iターン就職支援緊急強化事業 1,760万円
県外学生と県内中小企業とのマッチングの機会を拡充するため、集団面接会、県外学生のための首都圏発職場見学ツアー

などを実施。ホームページ、パンフレット、ダイレクトメールなどにより県内中小企業の魅力を発信

- 山梨県立産業技術短期大学校設置及び管理条例及び山梨県立職業能力開発校設置及び管理条例の一部改正
公共職業訓練の充実を図るため、産業技術短期大学校都留キャンパスを整備



定例会ごとに実施している議長定例記者会見

[GENKI ★ YAMANASHI]

T O P I C S

★ A G G R E S S I V E ★



映画「白磁の人」の高橋監督、主演の吉沢さんと記念植樹



約千人の皆さんに参加いただいた第65回清里高原つつじ祭りと今年8回目を迎えた清里ウークが開催されました。



議員による森林（もり）づくりで300本の苗木を植樹



平成24年度リニア中央新幹線建設促進山梨県経済団体協議会で挨拶



新系統の豚を開発した畜産試験場でお祝いの挨拶



東京都議会オリンピック招致議員連盟の皆様と意見交換



新県立図書館を視察
右隣は阿刀田図書館長



山梨県緑化推進機構会長として、本年度ミスインターナショナル日本代表の吉松育美さんから緑の募金を受納



Mt富士ヒルクライムの前夜祭で選手たちを激励



6月定例
県議会を
終えて

6月定例県議会では、エネルギー対策や雇用対策などについて活発な議論が交わされました。特にエネルギー対策は、県内の電力需要を100%県内で賄う「エネルギーの地産地消」を目指すという、非常に画期的なものです。脱原発の議論はともかく、再生可能エネルギーの普及は、私たちの向かうべき道であります。皆様の率直な御意見をお聴かせください。